

長野県多文化共生相談センター相談員をかたった 詐欺事案等の発生について

長野県多文化共生相談センターが業務で使用する SNS アカウントが第三者に不正利用されました。一部利用登録者の個人情報漏えいし、詐欺被害(1件)が生じました。また、その他の利用登録者の個人情報も漏えいしたおそれがあります。

関係する皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

1 概要

(1) 長野県多文化共生相談センターの相談員が相談業務で使用しているメッセージ型交流サイト(SNS) WhatsApp(ワッツアップ)のアカウントが第三者に不正利用されました。

- 令和8年8月10日、WhatsAppをかたりセキュリティ更新を求めるメッセージに従い、相談員が相談用端末を操作しました。
- 令和8年8月11日、このSNSでの利用登録者55名のうち2名の氏名が閲覧され、相談員になりすました偽のメッセージが送信されました。うち1名が金銭の振込を要求する偽のメッセージに従い、銀行ATMから198,000円を振り込み、詐欺被害を受けました。
- 全利用登録者の個人情報(氏名、電話番号、相談員とのSNS上のやり取り)が閲覧されたおそれがあります。
- 長野県多文化共生相談センターは、外国人県民からの生活相談に対応するため、長野県が公益財団法人長野県国際化協会(ANPI)に運営を委託しているものです。

(2) 上記(1)の被害を除き、全利用登録者のうち52名については、現時点で個人情報の不正利用及び詐欺等の被害がないことを確認しました。残りの3名については、現在確認中です。

2 これまでの対応

- ・令和8年8月12日 事案の発生についてANPIから県へ報告
- ・ " 詐欺被害者及び県・ANPIが本事案の発生について警察へ相談
- ・ " 利用登録者に対し、センター相談員をかたる詐欺に関する注意喚起を実施
- ・令和8年8月13日 SNSアカウントに対するセキュリティ対策を実施
- ・令和8年8月14日 利用登録者に対し、個人情報漏えいしたおそれがあることについて通知

3 今後の対応

- ・センター相談員に対する情報セキュリティ及びSNS利用に関する研修の実施
- ・ANPIにおける情報セキュリティ管理体制の再点検及び再発防止策の徹底

(問合せ先)

担 当 公益財団法人 長野県国際化協会
荒川
電 話 026-235-7186(直通)
ファクシミリ 026-235-4738
電子メール mail@anpie.or.jp

(問合せ先)

担 当 県民文化部 県民政策課
多文化共生係 小林 赤羽
電 話 026-235-7132(直通)
026-232-0111(代表) 内線 2520
ファクシミリ 026-235-7284
電子メール tabunka@pref.nagano.lg.jp